



平成23年7月20日

各 位

上場会社名 協和発酵キリン株式会社
 代表者 代表取締役社長 松田 謙
 (コード番号 4151)
 問合せ先責任者 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 諸富 滋
 (TEL 03-3282-0009)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年1月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	175,000	20,000	20,500	14,500	25.45
今回修正予想(B)	186,300	29,900	30,200	17,700	31.10
増減額(B-A)	11,300	9,900	9,700	3,200	
増減率(%)	6.5	49.5	47.3	22.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	203,466	21,692	22,334	9,901	17.38

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	325,000	37,000	38,000	25,500	44.75
今回修正予想(B)	342,000	43,500	44,500	25,500	44.75
増減額(B-A)	17,000	6,500	6,500	—	
増減率(%)	5.2	17.6	17.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	413,738	45,410	46,500	22,197	38.96

修正の理由

当第2四半期までの連結業績は、医薬事業において、主力製品である腎性貧血治療剤「ネスプ」が好調に推移したほか、花粉飛散量が多かった影響等により、抗アレルギー剤「アレロック」及び抗アレルギー点眼剤「パタノール」の売上高が当初計画及び前年同期を上回る水準で推移しました。また、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」や、昨年販売を開始した経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「フェントス」も順調に売上高を伸ばしております。加えて、研究開発費を中心に販売費及び一般管理費の一部未消化も見込まれることから、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上